

トンネル放流による道路法面崩落箇所等の本復旧工事の完了について

令和 5 年 5 月に天ヶ瀬ダムトンネル式放流設備からの放流による、天ヶ瀬ダム下流宇治川右岸の道路法面崩落等については、国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所が設置した天ヶ瀬ダム放流調査委員会での議論を経て、令和 5 年 12 月から本復旧工事に着手されました。

この度、「道路法面崩落箇所（直上流対策箇所含む）」及び「祠付近着水箇所（階段部）」の本復旧工事が令和 6 年 6 月 14 日に完了したので報告します。

1. 経緯

令和 5 年 5 月 天ヶ瀬ダムトンネル式放流設備からの放流により、天ヶ瀬ダム下流宇治川右岸の道路法面崩落、志津川区管理の祠付近への着水等が発生【R5. 第 7 回建水で報告】

令和 5 年 6 月 応急復旧工事着手～完了【建水委員あて情報提供】
第 1 回 天ヶ瀬ダム放流調査委員会【R5. 第 8 回建水で報告】

令和 5 年 7 月 第 2 回 天ヶ瀬ダム放流調査委員会【R5. 第 10 回建水で報告】

令和 5 年 12 月 本復旧工事着手【R5. 第 14 回建水で報告】

令和 6 年 6 月 本復旧工事完了【今回】

2. 工事内容（資料 1）

令和 5 年 12 月の本復旧工事着手時に、令和 6 年 6 月中旬完了を目標としていた下記工事が完了した。

① 道路法面崩落箇所（直上流対策箇所含む）

洗掘や吸い出しに耐え得る堅固な構造として、現場打ち擁壁を施工。なお、景観配慮・修景のため、擁壁前面に自然石を用いた埋設型柵を採用。

② 祠付近着水箇所（階段部）

天ヶ瀬ダムからの流水が階段を駆け上がらない構造として、既設階段を取り壊し、波返し付擁壁を施工。なお、景観配慮・修景のため、平場部分は周辺の意匠に合わせ鉄平石仕上げとした。

- 令和5年5月に被災が確認された「道路法面崩落箇所(直上流対策箇所含む)」並びに「祠付近着水箇所(階段部)」の本復旧が完了しました。
- 「白虹橋付近河岸洗掘箇所」並びに「道路法面崩落箇所の直下流」の対策については、関係機関等と今後の河川利用・復旧形状・構造などについて協議しているところです。工事着手の目途が立った段階で、別途お知らせします。
- 令和6年5月22日に開催された「宇治市防災パトロール」にて、宇治市防災会議の構成員のみなさまに復旧状況を視察していただきました。

②祠付近着水箇所(階段部)

①道路法面崩落箇所(直上流対策箇所含む)



①道路法面崩落箇所(直上流対策箇所含む)

着手前(令和5年11月28日撮影)



※令和5年6月15日に応急復旧済み。

本復旧完了(令和6年6月3日撮影)



②祠付近着水箇所(階段部)

着手前(令和5年11月28日撮影)



本復旧完了(令和6年6月3日撮影)



断面図

